

伊方町・瀬戸町・三崎町合併協議会

第8回会議資料



日 時：平成15年7月31日（木）午後3時から
場 所：三崎町民会館 4階 大会議室

会 議 次 第

1 . 開 会

2 . 会長（瀬戸町長）あいさつ

3 . 会議録署名人の指名について

（ ） （ ） （ ）

4 . 議 事

報 告

報告第17号 各小委員会報告について

議 案

議案第14号 新町の名称候補募集要領等について

その他

3町の町民意向調査結果報告について

第9回 伊方町・瀬戸町・三崎町合併協議会の日程について

5 . その他

6 . 副会長（三崎町長）あいさつ

7 . 閉 会

配布資料一覧表

	ページ
(報 告)	
1 . 報告第 1 7 号 各小委員会報告について	1
(議 案)	
2 . 議案第 1 4 号 新町の名称候補募集要領等について	6
(その他)	
3 . 3 町の町民意向調査結果報告について	1 1
4 . 第 9 回 伊方町・瀬戸町・三崎町合併協議会の日程について	4 9

報 告

報 告 第 17 号

各小委員会報告について

各小委員会について別紙のとおり報告する。

平成15年7月31日提出

伊方町・瀬戸町・三崎町合併協議会
会長 井 上 善 一

資 料

	ページ
1 . 住民小委員会	2
2 . 総務小委員会	3
3 . 行政組織小委員会	4
4 . 企画小委員会	5

平成15年7月17日

伊方町・瀬戸町・三崎町合併協議会
会長 井上善一様

住民小委員会
委員長 宮下寛

伊方町・瀬戸町・三崎町合併協議会小委員会規程第7条の規定に基づき、住民小委員会における審議の経過について報告いたします。

開催日時	平成15年7月17日(木) 午後2時00分～3時16分
開催場所	伊方町役場 4階 全員協議会室
出席者	委員 12名 事務局 4名 (増田局長、坂本班長、加藤班長、竹内班長補佐)
<p>【 協議項目の審議の経過 】</p> <p>《継続協議》 <u>新町の名称の取扱いについて(項目 No.3)</u></p> <p>第2回小委員会で審議され、継続協議となっている『新町の名称候補募集要領(案)等』について審議が行われ</p> <p>(1)新町の名称候補募集要領(案) (2)新町の名称候補選定基準(案) (3)新町の名称選定方法(案)</p> <p>の3つの案件について、いずれも過去の審議経過をふまえ、原案のとおり承認し、第8回合併協議会へ提案することを決定いたしました。</p> <p>なお、公募に際し、住民への周知については、チラシを作成して協議会だよりや3町広報誌と共に各戸へ配布し、あわせてCATVやマスメディアを積極的に活用することや、3町内の小中学校及び高校に対し、児童生徒の応募への取り組みを要請することなどを申し合わせいたしました。</p> <p>また、新町の名称選定方法に掲げる作業スケジュールについては、年内の作業完了を目標として、現時点で考えられる標準的な作業期間を示したものでありますが、作業の進捗状況により変更もありえることとしています。</p> <p>新町の名称候補募集要領等について、合併協議会で承認されれば、小委員会で選定する候補の数やその方法等についての審議を行う予定としています。</p>	

平成15年7月23日

伊方町・瀬戸町・三崎町合併協議会
会長 井上善一様

総務小委員会
委員長 樋田剛

伊方町・瀬戸町・三崎町合併協議会小委員会規程第7条の規定に基づき、総務小委員会における審議の経過について報告いたします。

開催日時	平成15年7月23日(水) 午後2時00分～2時46分
開催場所	伊方町役場 4階 全員協議会室
出席者	委員 11名(欠席1名) 事務局 5名 (増田局長、山本班長、加藤班長、三好班長、竹内班長補佐)
【 協議項目の審議の経過 】	
継続協議	
<u>財産の取扱いについて</u> 事務局より、伊方町及び瀬戸町による審議経過等の説明を受けた後、質疑及び審議を行いました。審議の結果、2町のこれまでの審議経過を踏まえ、三崎町の状況等についても把握を行い、継続して審議することといたしました。	
<u>町議会議員の任期及び定数の取扱いについて</u> 事務局より、伊方町及び瀬戸町による審議経過等の説明を受けた後、質疑及び審議を行いました。審議の結果、2町のこれまでの審議経過を踏まえ、三崎町を含めた3町の議会での意見の集約をお願いし、その結果を受けて審議するという事で、継続して審議することといたしました。	
<u>農業委員会委員の任期及び定数の取扱いについて</u> 事務局より、伊方町及び瀬戸町による審議経過等の説明を受けた後、質疑及び審議を行いました。2町のこれまでの審議経過を踏まえ、三崎町を含めた3町の農業委員会での意見の集約をお願いし、その結果を受けて審議するという事で、継続して審議することといたしました。	

平成15年7月15日

伊方町・瀬戸町・三崎町合併協議会
会長 井上善一様

行政組織小委員会
委員長 山口和哉

伊方町・瀬戸町・三崎町合併協議会小委員会規程第7条の規定に基づき、行政組織小委員会における審議の経過について報告いたします。

開催日時	平成15年7月15日(火) 午後2時00分～2時40分
開催場所	伊方町役場 4階 全員協議会室
出席者	委員 12名 事務局 5名 (増田局長、山本班長、坂本班長、加藤班長、竹内班長補佐)
【 協議項目の審議の経過 】	
<u>三崎町役場庁舎の取扱いについて</u>	
新町事務所の位置の調整方針及びその決定経過等の説明を受け、審議した結果、事務所の利用については、現在の住民サービスが低下しないことを基本に三崎町役場庁舎についても、瀬戸町役場庁舎の取扱いに準じ、総合支所とすることに決定いたしました。	

平成15年7月22日

伊方町・瀬戸町・三崎町合併協議会
会長 井上善一様

企画小委員会
委員長 石崎照夫

伊方町・瀬戸町・三崎町合併協議会小委員会規程第7条の規定に基づき、企画小委員会における審議の経過について報告いたします。

開催日時	平成15年7月22日(火) 午後2時00分～3時45分
開催場所	伊方町役場 4階 全員協議会室
出席者	委員 12名 幹事 3名 (浜口課長・近田課長・阿部課長) 事務局 5名 (増田局長・山本班長・加藤班長) (三好班長・竹内班長補佐)
【 協議項目の審議の経過 】	
《継続協議》	
<u>新町将来構想の策定及び新町建設計画の作成について(項目No.10)</u>	
1) 3町の町民意向調査(アンケート)について 2町で実施した町民意向調査に、三崎町の調査結果を加えた3町の全世帯を対象とした調査結果について、事務局より説明を受けました。回収数 2,021 票、回答率 37.2 %という結果となりました。町民の意向結果をこれから策定する将来構想に反映させていくこととしました。	
2) 新町将来構想、建設計画について 新町将来構想等の意見交換を行い、小委員会の役割や合併協議会での小委員会の位置付けの確認、新しい町づくりを行う上での合併特例債や、費用対効果を考慮した施設の適正配置など、3町の現状を把握しながら新しい町の計画を策定する必要があるとの意見が出されました。 今後、細部については幹事会等で案を作成することとし、継続して審議することとなりました。	
3) 策定スケジュールについて 新町将来構想、建設計画の策定スケジュールについて、事務局より経過及びこれからの作業手順や審議内容などについて説明を受けました。審議、検討した結果、全体的に審議期間が短いとの意見がありましたが、おおむねのスケジュールは事務局提案を基に進めることで確認し、平成16年1月を目標に建設計画原案を確定することと致しました。	

議 案

新町の名称候補募集要領等について

新町の名称候補募集要領等について次のように定める。

記

- 1 新町の名称候補募集要領（別紙1）
- 2 新町の名称候補選定基準（別紙2）
- 3 新町の名称選定方法（別紙3）

平成15年7月31日提出

伊方町・瀬戸町・三崎町合併協議会
会長 井上善一

新町の名称候補募集要領

1 公募の目的

- (1) 住民の合併に対する関心の喚起を図る。
- (2) 合併問題に対する住民参加の推進を図る。
- (3) 広く新町の名称を公募することにより、幅広い意見の集約を図る。
- (4) 広く新町の名称を公募することにより、この地域の知名度の向上を図る。

2 公募の内容

合併後の新町にふさわしい町の名称を公募する。

3 公募の方法

次の内容により、公募を行う。

(1) 応募者の資格

- ・ 年齢や住所要件等、特に制限を設けない。

(2) 応募方法

- ・ 応募は次に掲げるいずれかの方法で、一人 1 点限り応募ができるものとする。

専用応募用紙（合併協議会事務局で作成する応募用紙）

官製はがき 封書 ファックス 電子メール

- ・ 応募の際には、必要な記載事項として、新町の名称（読み方）、名称の意味又は理由、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、連絡先（電話番号）を明記することとする。

(3) 名称について

- ・ 新町の名称には、漢字、ひらがな、カタカナのみを使用するものとする。
- ・ 名称の読み方、意味又は理由は必ず記載すること。

(4) 賞・副賞

- ・ 賞及び副賞については次のとおりとする。

賞

新町の名称として採用された名称を応募した者のなかから『名付け親大賞』として 1 名、『名付け親賞』として 10 名以内の者を、抽選により決定する。

また、アイデア賞として優秀な作品を応募した者の中から、20 名程度の者を決定する。

副賞

- | | |
|----------|-----------|
| ・ 名付け親大賞 | 10 万円の賞金 |
| ・ 名付け親賞 | 各 1 万円の賞金 |
| ・ アイデア賞 | 記念品 |

(5) 賞品贈呈者の発表

・新町の名称が決定された後、合併協議会において賞の贈呈者を決定し、合併協議会だより、各町の広報紙及びホームページ等を通じて発表する。

4 公募の期間

平成15年8月22日(金)から平成15年9月30日(火)までとする。

注) 郵送の場合、締め切り日の消印有効とする。

5 広報活動

募集期間中、合併協議会だより、各町広報、ホームページをはじめ、報道各社への広報依頼等の活動を積極的に行う。

6 応募作品の位置づけ

原則として、応募されたものの中から新町の名称を決定することとする。

また、何らかの理由により応募作品をそのまま採用することが困難な場合には、必要最低限の修正は可能とする。

新町の名称候補の選定や新町の名称の決定に当たっては、応募された名称の応募数は判断材料としないものとする。

なお、その名称を応募した理由については、十分留意して選定するものとする。

7 新町の名称の決定方法

合併協議会内に設置する「住民小委員会」において、選定基準を審議して決定の上、協議会に報告し承認を得る。

それに基づき応募作品の中から新町の名称としてふさわしい候補名を5~10点程度小委員会で選定し、これを協議会に報告して、協議会での協議(選考)により新町の名称を決定する。

8 新町の名称候補選定基準

「住民小委員会」において、別に定める。

新町の名称候補選定基準

1 選定基準

新町の名称の候補は、漢字、ひらがな及びカタカナにより表記された読み書きが容易な名前で、次の条件の1つ以上に該当する名前とする。

- 地域が地理的にイメージできる名前
- 地域の特徴を表す名前
- 地域の歴史・文化にちなんだ名前
- 地域を対外的にアピールできる名前
- 地域の知名度が向上できる名前
- 住民等の理想・願いにちなんだ名前
- その他新町としてふさわしい名前

2 選定方法

新町の名称は、住民小委員会において応募作品の中から新町の名称としてふさわしい候補名を5～10点程度選定し、これを協議会に報告して、協議会での協議（選考）により新町名を決定する。

注）候補の数は住民小委員会において決定するものとする。

3 募集作品の修正

応募作品をそのまま採用することが困難な場合には、必要に応じて、作品の趣旨を損なわない範囲で修正することができるものとする。

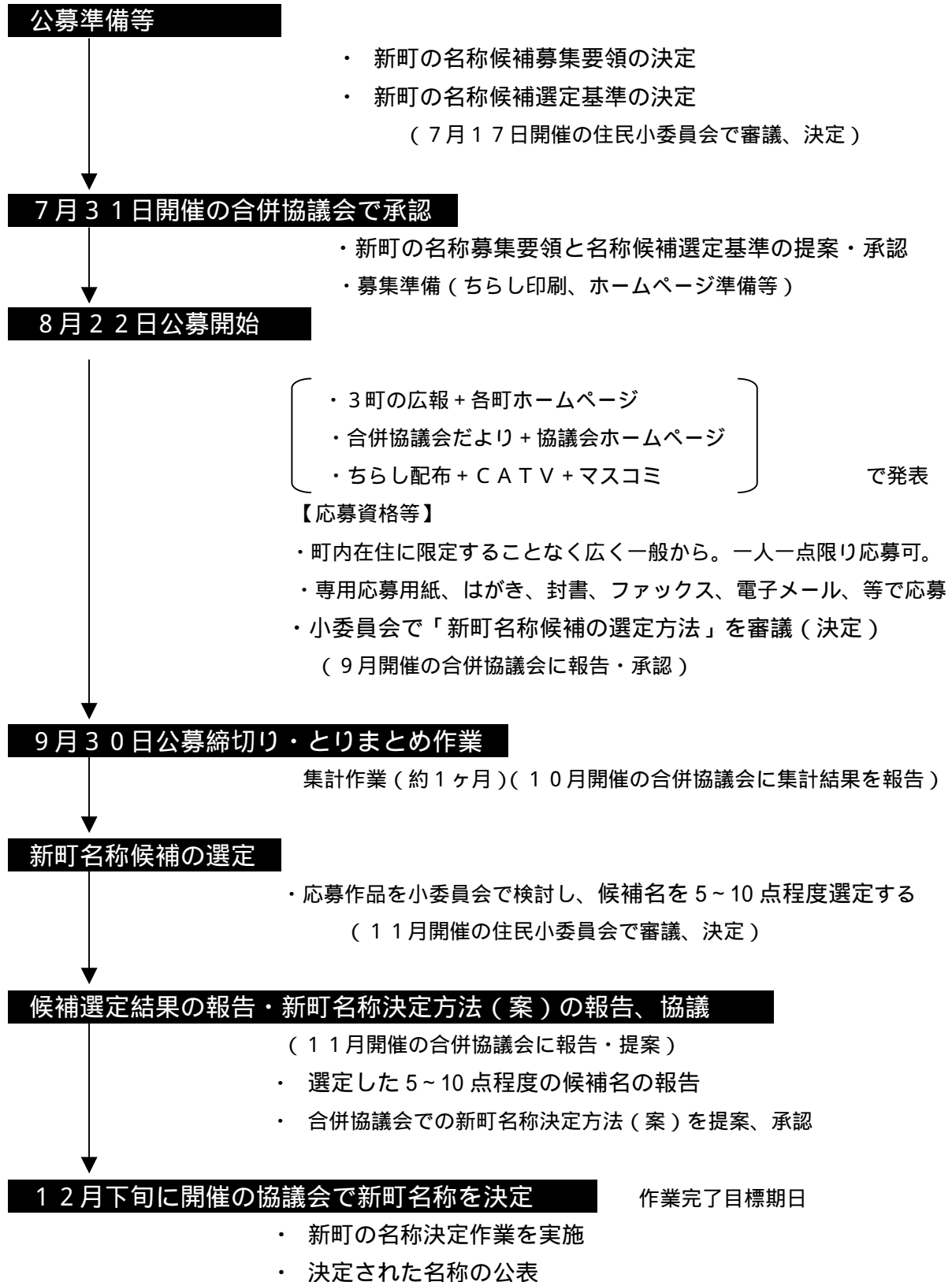
4 選定にあたっての留意点

新町の名称候補の選定や新町の名称の決定に当たっては、応募された名称の応募数は判断材料としないものとする。

なお、その名称を応募した理由については、十分留意して選定するものとする。

新町の名称選定方法

(新町の名称の公募から決定に至るまでの流れ)



そ の 他

その他

3町の町民意向調査結果報告について

伊方町・瀬戸町・三崎町

新しいまちづくりに関する町民意向調査

結果報告書

平成 15 年 7 月

伊方町・瀬戸町・三崎町合併協議会

目次

1 . 調査概要	1
<p>本調査に関する概要として、調査目的、実施概要、調査内容及び本報告書の見方について、を掲載します。</p>	
2 . 調査結果	3
<p>設問ごとに、「結果表」ならびに「結果グラフ」を掲載します。</p>	
3 . 調査結果まとめ・考察	17
<p>調査結果から、住民意向の傾向などを分析します。</p>	
(1) 回答者の傾向〔問 1 (1) ~ (5)〕	17
(2) 情報機器等の浸透度〔問 1 (6) ~ (7)〕	18
(3) 住まいの町に対する満足度〔問 2 〕	20
(4) 合併に対する意識〔問 7 〕	23
(5) 新たなまちづくりの優先施策〔問 3 〕	25
(6) 合併への期待と不安〔問 4、問 6 〕	27
(7) 地域づくりへの参加意欲〔問 5 〕	30
4 . 自由意見まとめ	32

1 . 調査概要

1 . 調査目的

本調査は、3町の魅力、新しいまちづくりへの要望、新町建設への意見などをうかがい、町民の方々の意向を新しいまちづくりの青写真となる「新町建設計画」に反映させることを目的に実施したものです。

2 . 実施概要

調査対象者	伊方町、瀬戸町、三崎町の全世帯
配布数（票）	5,428 票
有効回収数（票）	2,021 票
有効回答率（％）	37.2%
調査方法	郵送調査（調査票を郵送の上、記入後に郵送で回収）
調査期間	伊方町/瀬戸町：平成 15 年 1 月 25 日～2 月 24 日 三崎町：平成 15 年 5 月 15 日～5 月 30 日

3 . 調査内容

問1 回答者の基本事項	居住地域、性別、年齢、居住歴、職業、 コンピュータ所持状況、インターネット利用状況
問2 町の環境	20 項目に関する満足度
問3 新しいまちづくりの視点	5 項目の優先順位
問4 合併効果への期待	9 項目に関する期待度
問5 まちづくりへの参加意向	3 項目に関する参加意向
問6 合併における不安	8 項目に関する不安度
問7 合併による暮らしへの影響	4 者択一
問8 地域格差の是正策	（自由記入）
問9 地域の魅力など	まちの魅力・自慢（自由記入） 新しいまちのキャッチフレーズ（自由 記入）
問10 新しいまちの将来への意見	（自由記入）

4 . 本報告書の見方について

比率はすべて百分率（％）で表し、少数第 2 位を四捨五入しました。したがって、合計の割合は 1%の範囲内で 100%を増減することがあります。

グラフや図表中の数値の単位で特に単位に表記がない場合は比率（％）で表しています。

グラフ中、5.0%未満の数値は表示していないものがあります。

基数となるべき実数（分母）は、 $n = \text{〇〇〇}$ として掲載し、各比率は n を 100%として算出しています。

回答者を限定する設問では、回答者数を基数 n として算出しています。

1 人の回答者が 2 つ以上の回答を出してもよい設問では、各回答の比率は回答者数で割合を算出しているため、合計の割合は 100%を超える場合があります。

グラフや図表、本文中においては、場合によって設問等の語句を簡略化してあります。

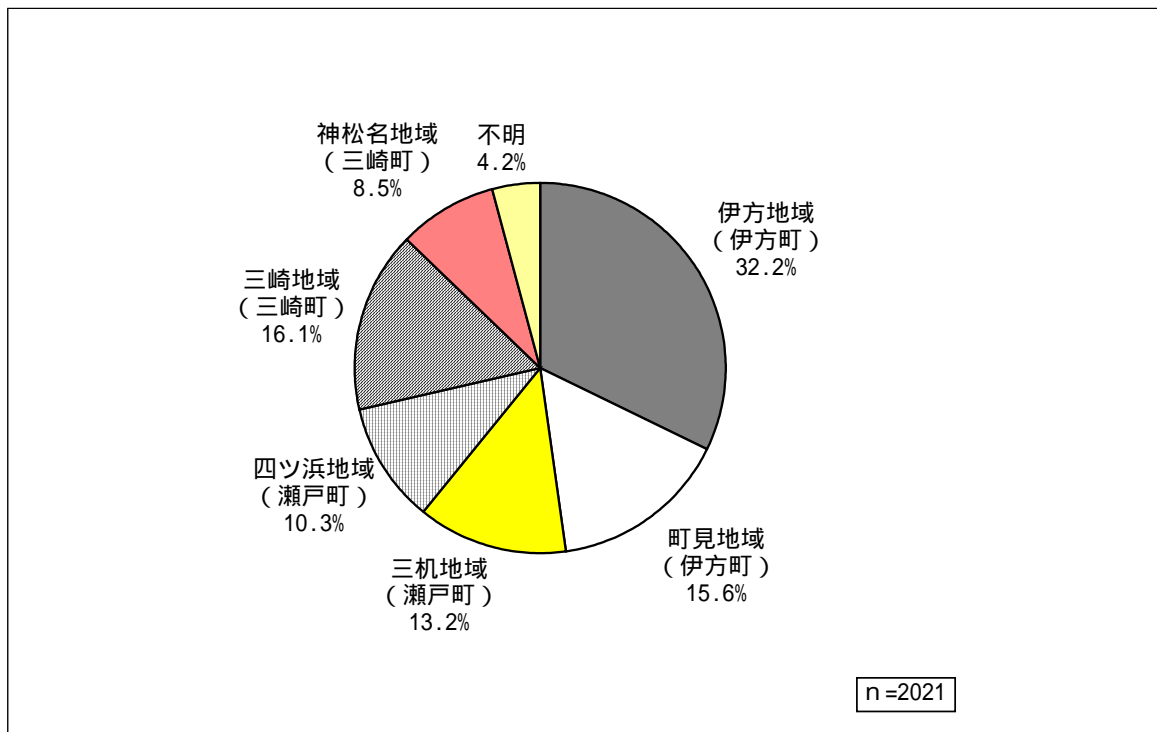
2 . 調査結果

設問ごとに、「設問文」、「結果表」、「結果グラフ」を掲載します。

1 はじめに、あなた（主に回答する方）におたずねします。

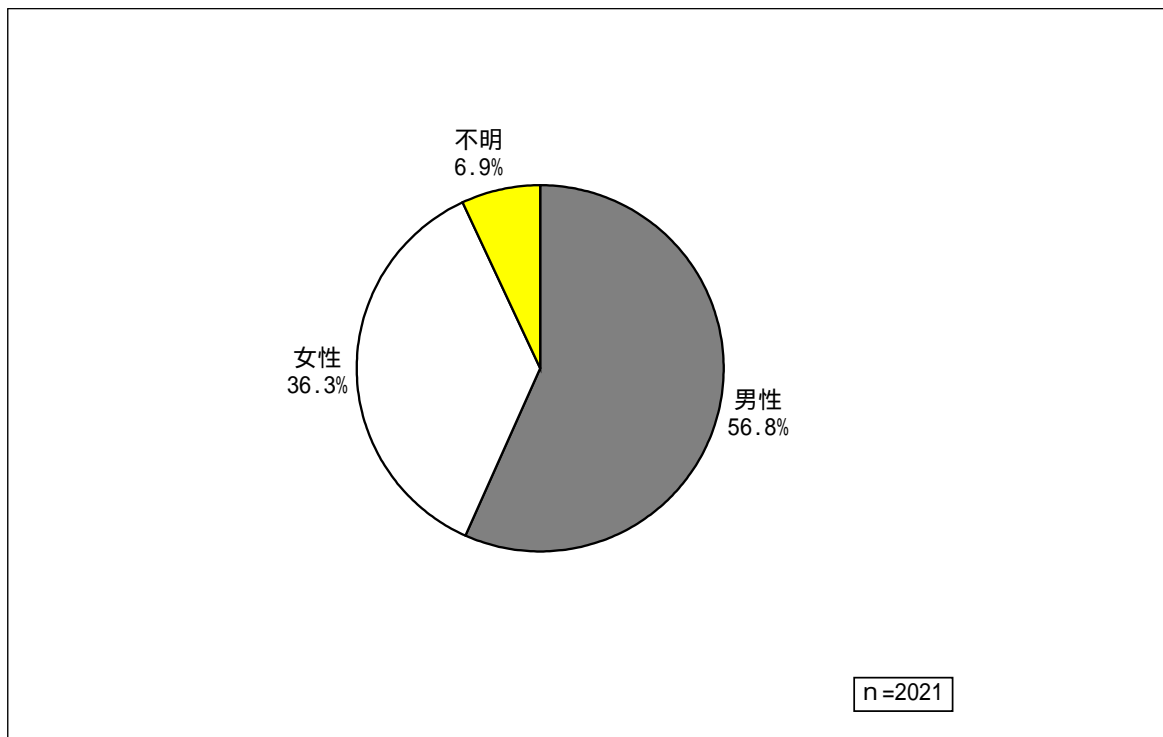
問 1(1) 居住地区

No.	カテゴリー名	n	%
1	伊方地域（伊方町）	650	32.2
2	町見地域（伊方町）	315	15.6
3	三机地域（瀬戸町）	267	13.2
4	四ツ浜地域（瀬戸町）	208	10.3
5	三崎地域（三崎町）	325	16.1
6	神松名地域（三崎町）	171	8.5
	不明	85	4.2
	全体	2021	100.0



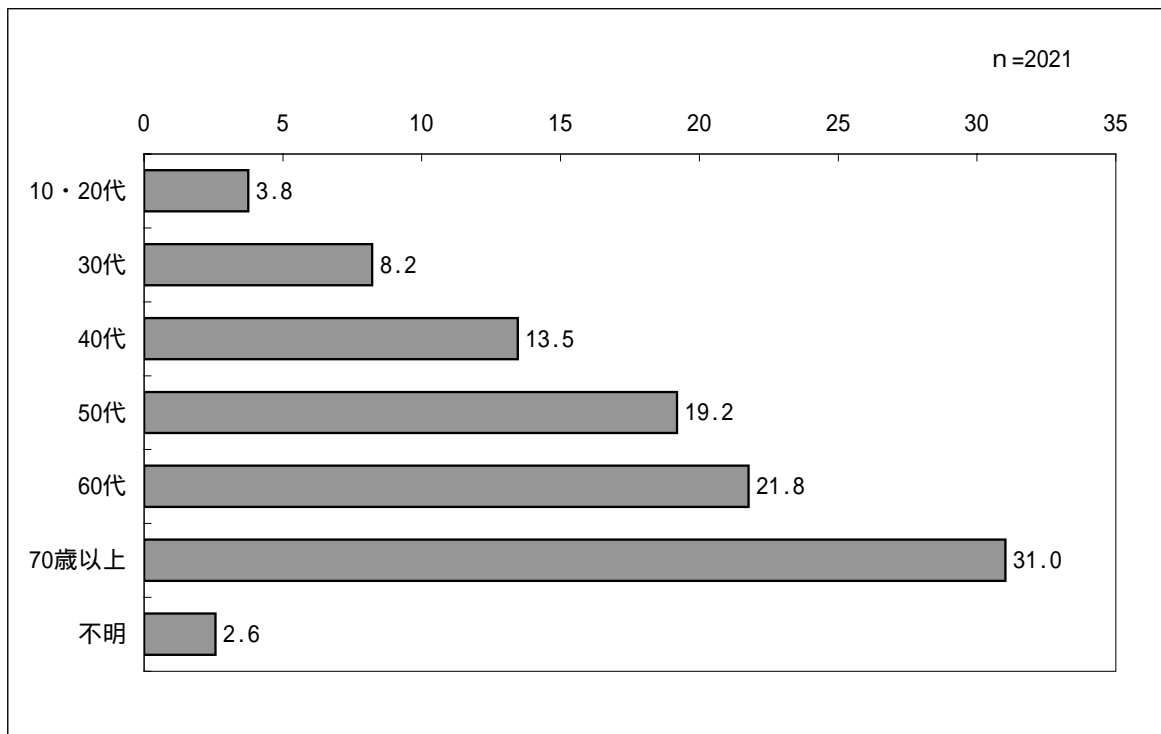
問 1(2) 性別

No.	カテゴリー名	n	%
1	男性	1147	56.8
2	女性	734	36.3
	不明	140	6.9
	全体	2021	100.0



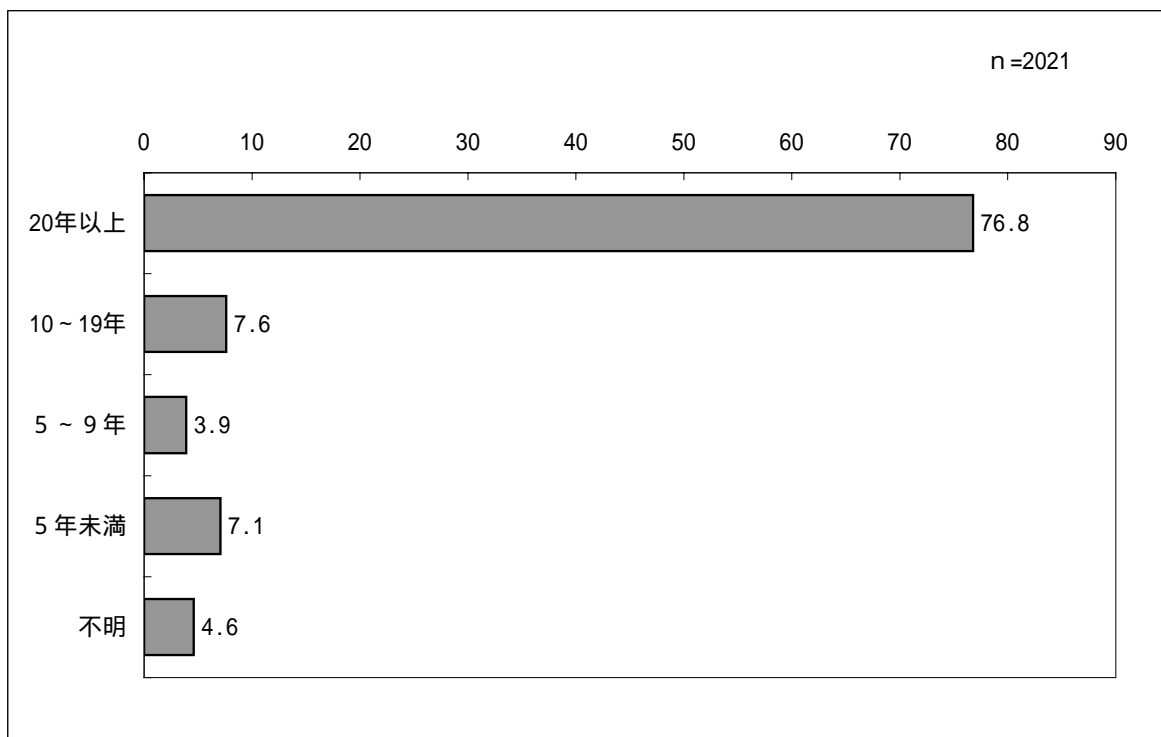
問 1(3) 年齢

No.	カテゴリー名	n	%
1	10・20代	76	3.8
2	30代	166	8.2
3	40代	272	13.5
4	50代	388	19.2
5	60代	440	21.8
6	70歳以上	627	31.0
	不明	52	2.6
	全体	2021	100.0



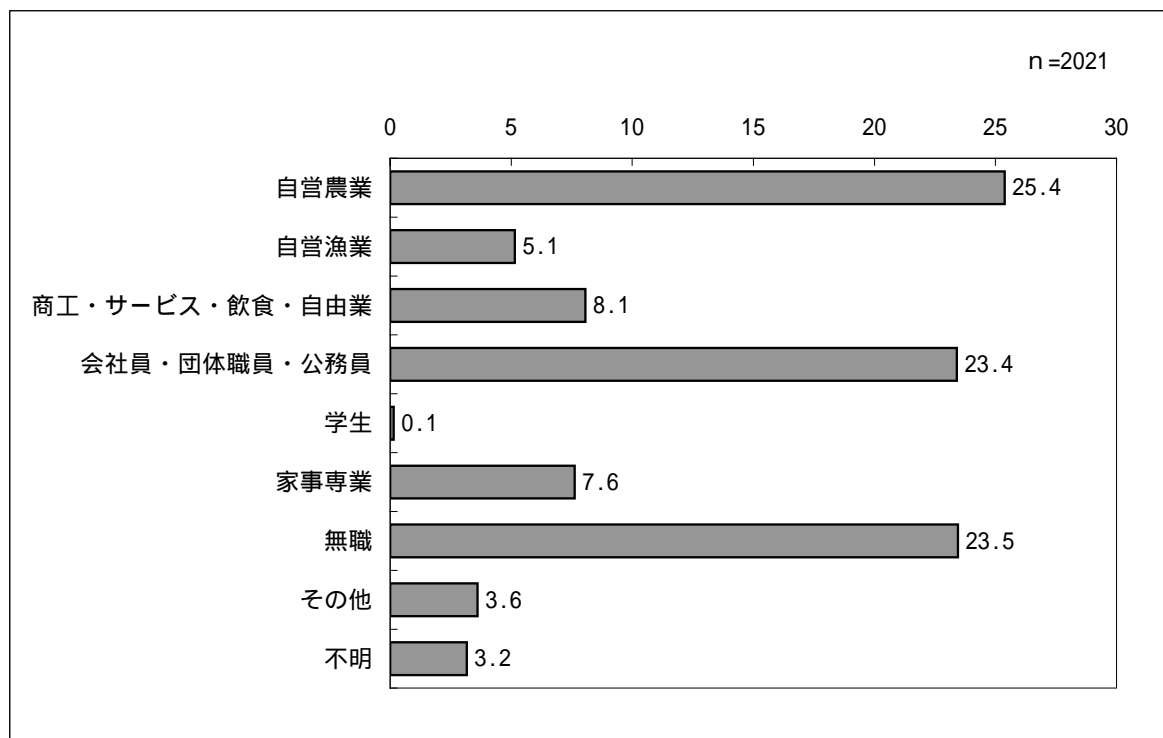
問 1(4) 居住年数

No.	カテゴリー名	n	%
1	20年以上	1552	76.8
2	10～19年	154	7.6
3	5～9年	79	3.9
4	5年未満	143	7.1
	不明	93	4.6
	全体	2021	100.0



問 1(5) 職業

No.	カテゴリー名	n	%
1	自営農業	513	25.4
2	自営漁業	104	5.1
3	商工・サービス・飲食・自由業	163	8.1
4	会社員・団体職員・公務員	473	23.4
5	学生	3	0.1
6	家事専業	154	7.6
7	無職	474	23.5
8	その他	73	3.6
	不明	64	3.2
	全体	2021	100.0

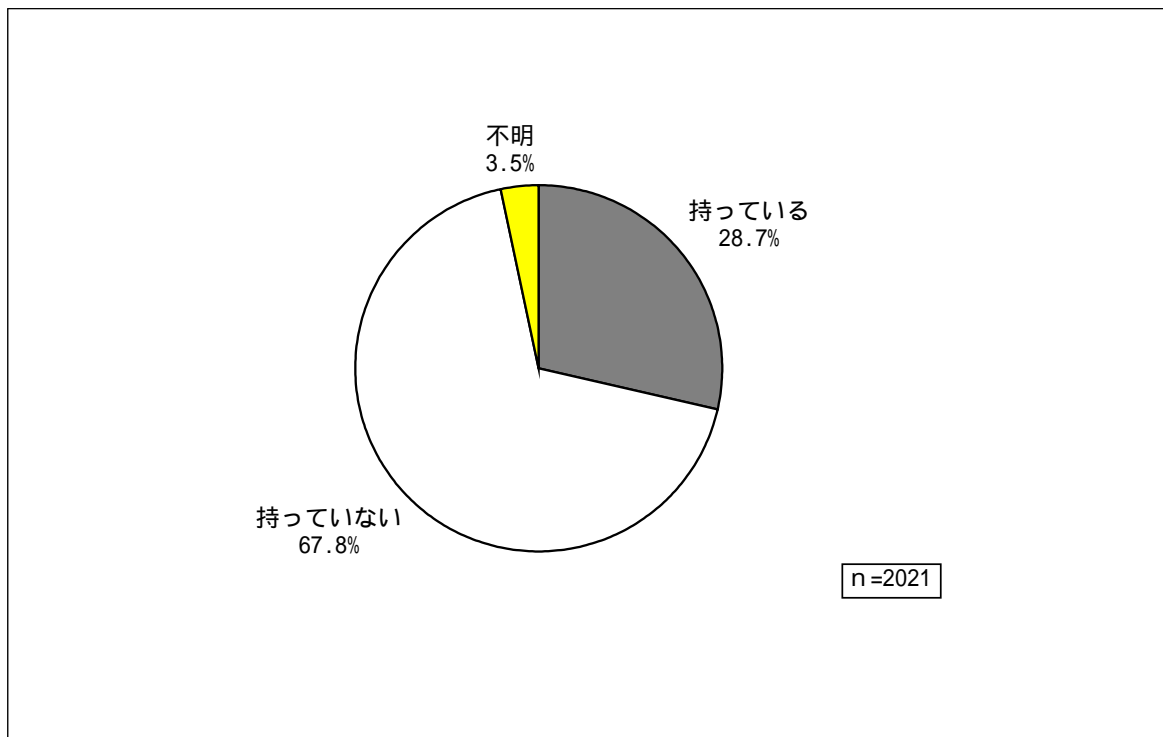


【その他の職業】

土木・建設・大工：11名、パート：6名、漁業・農業：6名、自営業：5名、
 年金生活者：4名、家事専従：2名、福祉：1名、製造：1名
 宗教法人・杜氏・臨時調理員・独居老人：各1名

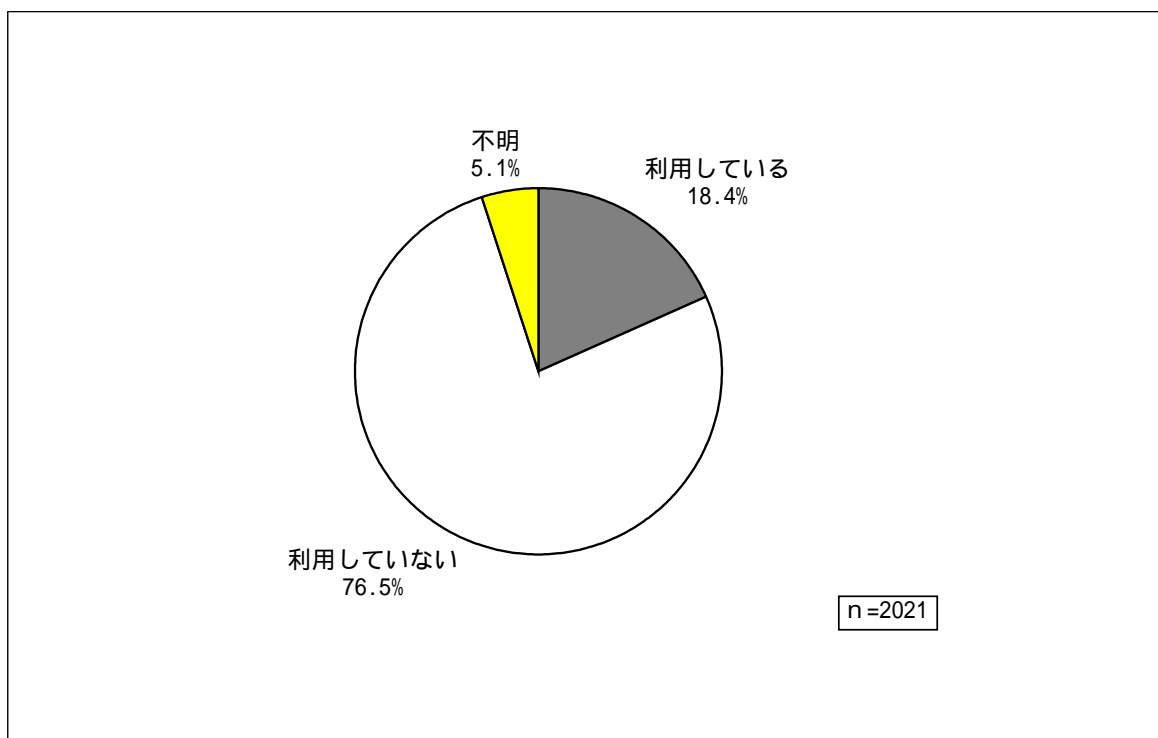
問 1(6) コンピューター保有状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	持っている	580	28.7
2	持っていない	1371	67.8
	不明	70	3.5
	全体	2021	100.0



問 1(7) インターネット利用状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	利用している	371	18.4
2	利用していない	1547	76.5
	不明	103	5.1
	全体	2021	100.0



2 お住まいの町の現状についておたずねします。

問2 お住まいの町の環境をどう思いますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1つに 印をつけてください。

	全体	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明
問2 自然環境の豊かさ	2021	597	438	745	114	44	83
	100.0	29.5	21.7	36.9	5.6	2.2	4.1
問2 水道の整備状況	2021	472	393	949	73	37	97
	100.0	23.4	19.4	47.0	3.6	1.8	4.8
問2 ごみの収集・処理の状況	2021	292	374	870	268	125	92
	100.0	14.4	18.5	43.0	13.3	6.2	4.6
問2 騒音・振動・悪臭等の環境	2021	327	317	961	215	84	117
	100.0	16.2	15.7	47.6	10.6	4.2	5.8
問2 人情味や地域の連帯感	2021	179	409	986	225	108	114
	100.0	8.9	20.2	48.8	11.1	5.3	5.6
問2 保健・医療サービスや施設整備	2021	135	363	801	422	200	100
	100.0	6.7	18.0	39.6	20.9	9.9	4.9
問2 福祉サービスや施設整備の状況	2021	131	346	910	335	178	121
	100.0	6.5	17.1	45.0	16.6	8.8	6.0
問2 火災や災害からの安全性	2021	177	290	933	374	144	103
	100.0	8.8	14.3	46.2	18.5	7.1	5.1
問2 道路の整備状況	2021	129	285	762	488	260	97
	100.0	6.4	14.1	37.7	24.1	12.9	4.8
問2 スポーツ活動や施設整備の状況	2021	119	276	1037	298	154	137
	100.0	5.9	13.7	51.3	14.7	7.6	6.8
問2 行政情報や行事情報の提供状況	2021	102	276	1041	330	153	119
	100.0	5.0	13.7	51.5	16.3	7.6	5.9
問2 下水・排水の処理状況	2021	157	194	885	404	275	106
	100.0	7.8	9.6	43.8	20.0	13.6	5.2
問2 子どもの教育環境	2021	95	247	1069	285	156	169
	100.0	4.7	12.2	52.9	14.1	7.7	8.4
問2 公園・緑地・広場の整備状況	2021	87	215	858	469	257	135
	100.0	4.3	10.6	42.5	23.2	12.7	6.7
問2 生涯学習活動、芸術・文化活動	2021	69	171	1168	334	128	151
	100.0	3.4	8.5	57.8	16.5	6.3	7.5
問2 国内外との交流活動	2021	75	155	1077	273	180	261
	100.0	3.7	7.7	53.3	13.5	8.9	12.9
問2 交通機関の便利さ	2021	66	131	524	602	595	103
	100.0	3.3	6.5	25.9	29.8	29.4	5.1
問2 男女平等意識や女性の社会参画	2021	53	125	1198	325	129	191
	100.0	2.6	6.2	59.3	16.1	6.4	9.5
問2 日常の買物の便利さ	2021	66	106	589	628	536	96
	100.0	3.3	5.2	29.1	31.1	26.5	4.8
問2 働きがいのある職場	2021	50	90	596	541	496	248
	100.0	2.5	4.5	29.5	26.8	24.5	12.3

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明	n
問2 自然環境の豊かさ	29.5	21.7	36.9	5.6			2021
問2 水道の整備状況	23.4	19.4	47.0				2021
問2 ごみの収集・処理の状況	14.4	18.5	43.0	13.3	6.2		2021
問2 騒音・振動・悪臭等の環境	16.2	15.7	47.5	10.6	5.8		2021
問2 人情味や地域の連帯感	8.9	20.2	48.9	11.1	5.3	5.6	2021
問2 保健・医療サービスや施設整備	6.7	18.0	39.6	20.9	9.9		2021
問2 福祉サービスや施設整備の状況	6.5	17.1	45.0	16.6	8.8	6.0	2021
問2 火災や災害からの安全性	8.8	14.3	46.2	18.5	7.1	5.1	2021
問2 道路の整備状況	6.4	14.1	37.7	24.1	12.9		2021
問2 スポーツ活動や施設整備の状況	5.9	13.7	51.3	14.7	7.6	6.8	2021
問2 行政情報や行事情報の提供状況		13.7	51.5	16.3	7.6	5.9	2021
問2 下水・排水の処理状況	7.8	9.6	43.8	20.0	13.6	5.2	2021
問2 子どもの教育環境		12.2	52.9	14.1	7.7	8.4	2021
問2 公園・緑地・広場の整備状況		10.6	42.5	23.2	12.7	6.7	2021
問2 生涯学習活動、芸術・文化活動		8.5	57.8	16.5	6.3	7.5	2021
問2 国内外との交流活動		7.7	53.3	13.5	8.9	12.9	2021
問2 交通機関の便利さ	6.5	25.9	29.8	29.4	5.1		2021
問2 男女平等意識や女性の社会参画	6.2		59.2	16.1	6.4	9.5	2021
問2 日常の買物の便利さ	5.2	29.1	31.1	26.5			2021
問2 働きがいのある職場		29.4	26.8	24.5	12.3		2021

3 新しいまちづくりについて、おたずねします。

問3 あなたは、どのような視点から新しいまちづくりを進めていくべきだと考えますか。最も優先する視点を“1”とし、優先する順に1～5までの番号を記入して下さい。

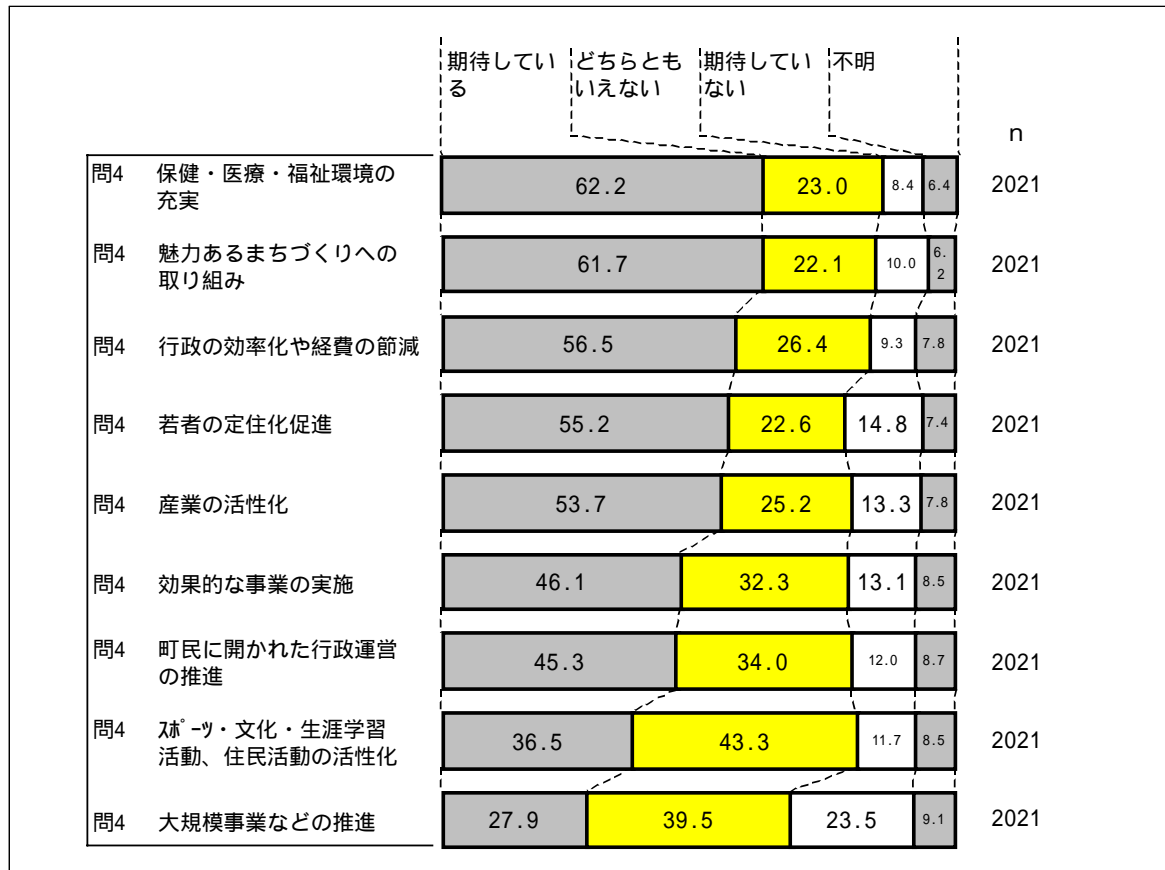
	全体	1位	2位	3位	4位	5位	不明
問3 産業振興を重視するまちづくり	2021 100.0	623 30.8	321 15.9	308 15.2	275 13.6	266 13.2	228 11.3
問3 健康・福祉を重視するまちづくり	2021 100.0	552 27.3	550 27.2	410 20.3	215 10.6	101 5.0	193 9.5
問3 自然環境を重視するまちづくり	2021 100.0	364 18.0	410 20.3	371 18.4	324 16.0	334 16.5	218 10.8
問3 住民自治を重視するまちづくり	2021 100.0	185 9.2	227 11.2	280 13.9	409 20.2	708 35.0	212 10.5
問3 教育・文化を重視するまちづくり	2021 100.0	106 5.2	300 14.8	446 22.1	566 28.0	383 19.0	220 10.9

	1位	2位	3位	4位	5位	不明	n
問3 産業振興を重視するまちづくり	30.8	15.9	15.2	13.6	13.2	11.3	2021
問3 健康・福祉を重視するまちづくり	27.4	27.2	20.3	10.6	9.5		2021
問3 自然環境を重視するまちづくり	18.0	20.3	18.4	16.0	16.5	10.8	2021
問3 住民自治を重視するまちづくり	9.2	11.2	13.9	20.2	35.0	10.5	2021
問3 教育・文化を重視するまちづくり	5.2	14.8	22.1	28.0	19.0	10.9	2021

記入順位に同順位があった回答は無効とした。(例 すべての項目が“1” など)

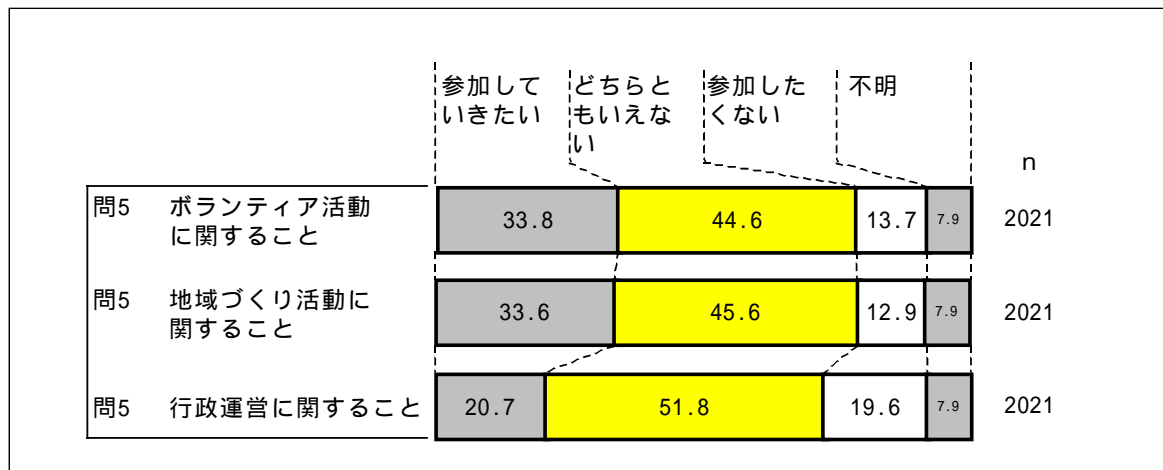
問4 あなたは、伊方町・瀬戸町・三崎町が合併するにあたって、どのような分野に期待しますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1つに 印をつけてください。

	全体	期待している	どちらともいえない	期待していない	不明
問4 保健・医療・福祉環境の充実	2021 100.0	1258 62.2	464 23.0	169 8.4	130 6.4
問4 魅力あるまちづくりへの取り組み	2021 100.0	1247 61.7	446 22.1	202 10.0	126 6.2
問4 行政の効率化や経費の節減	2021 100.0	1142 56.5	534 26.4	188 9.3	157 7.8
問4 若者の定住化促進	2021 100.0	1115 55.2	457 22.6	300 14.8	149 7.4
問4 産業の活性化	2021 100.0	1085 53.7	510 25.2	268 13.3	158 7.8
問4 効果的な事業の実施	2021 100.0	931 46.1	653 32.3	265 13.1	172 8.5
問4 町民に開かれた行政運営の推進	2021 100.0	916 45.3	688 34.0	242 12.0	175 8.7
問4 スポーツ・文化・生涯学習活動、住民活動の活性化	2021 100.0	738 36.5	875 43.3	237 11.7	171 8.5
問4 大規模事業などの推進	2021 100.0	564 27.9	798 39.5	475 23.5	184 9.1



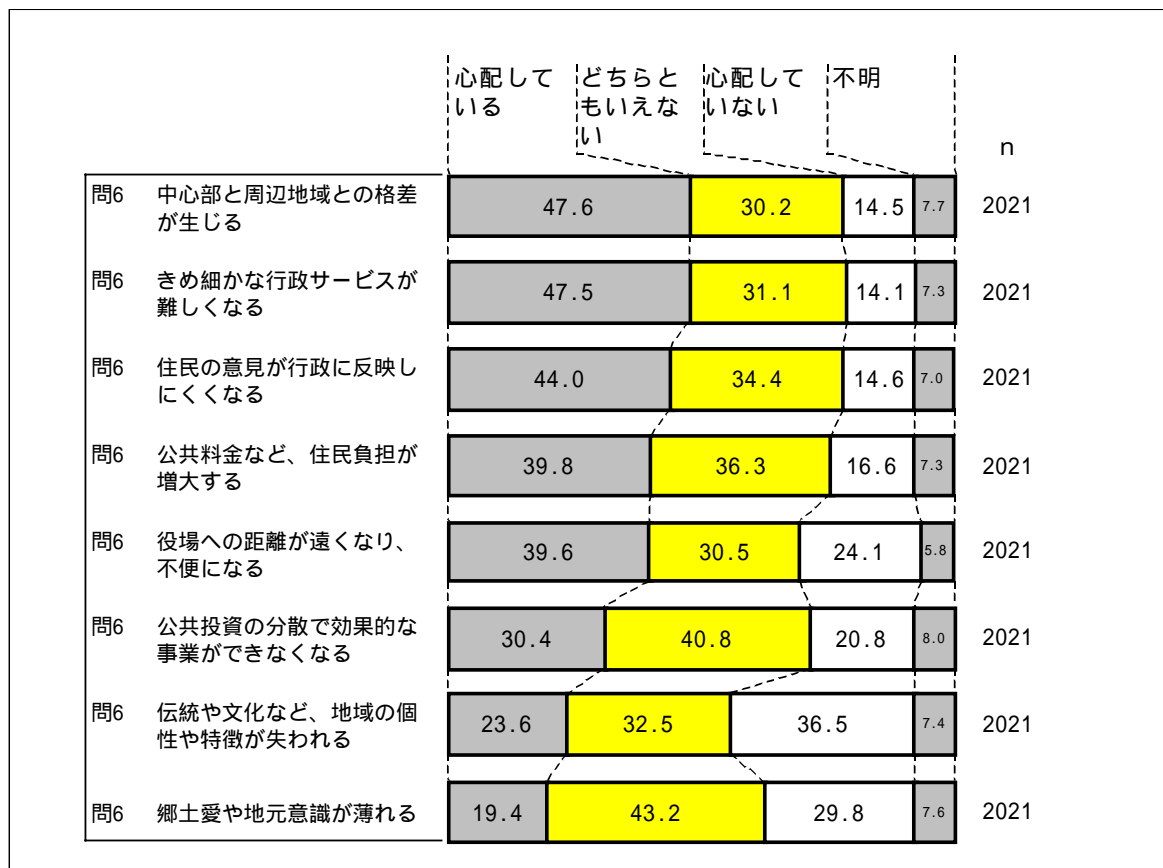
問5 あなたは、これからのまちづくりや地域づくりに参加したいと思いますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1つに 印をつけてください。

	全体	参加していき たい	どちら ともい えない	参加し たくな い	不明
問5 ボランティア活動に関すること	2021	684	901	276	160
	100.0	33.8	44.6	13.7	7.9
問5 地域づくり活動に関すること	2021	680	920	261	160
	100.0	33.6	45.5	12.9	7.9
問5 行政運営に関すること	2021	419	1047	396	159
	100.0	20.7	51.8	19.6	7.9



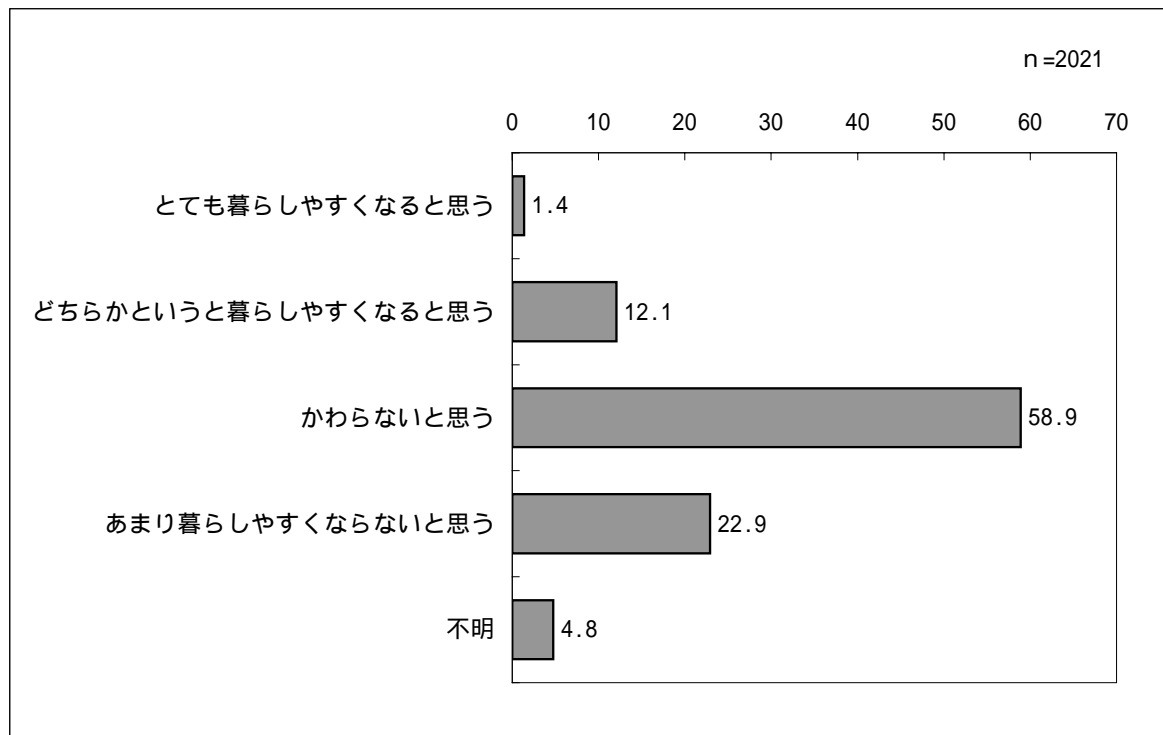
問6 あなたは、伊方町・瀬戸町・三崎町が合併するにあたって、どのようなことが心配ですか。それぞれの項目について、あてはまる番号1つに 印をつけてください。

	全体	心配している	どちらともいえない	心配していない	不明
問6 中心部と周辺地域との格差が生じる	2021 100.0	962 47.6	610 30.2	293 14.5	156 7.7
問6 きめ細かな行政サービスが難しくなる	2021 100.0	960 47.5	629 31.1	284 14.1	148 7.3
問6 住民の意見が行政に反映しにくくなる	2021 100.0	888 43.9	696 34.4	296 14.6	141 7.0
問6 公共料金など、住民負担が増大する	2021 100.0	803 39.7	734 36.3	336 16.6	148 7.3
問6 役場への距離が遠くなり、不便になる	2021 100.0	799 39.5	616 30.5	488 24.1	118 5.8
問6 公共投資の分散で効果的な事業ができなくなる	2021 100.0	615 30.4	823 40.7	421 20.8	162 8.0
問6 伝統や文化など、地域の個性や特徴が失われる	2021 100.0	477 23.6	656 32.5	739 36.6	149 7.4
問6 郷土愛や地元意識が薄れる	2021 100.0	393 19.4	872 43.1	602 29.8	154 7.6



問7 あなたは、伊方町・瀬戸町・三崎町が合併することによって、暮らしやすいま
ちになるとお思いますか。(1つに 印)

No.	カテゴリー名	n	%
1	とても暮らしやすくなると思う	28	1.4
2	どちらかという暮らしやすくなると思う	244	12.1
3	かわらないと思う	1190	58.9
4	あまり暮らしやすくないと思う	463	22.9
	不明	96	4.8
	全体	2021	100.0



3 . 調査結果まとめ・考察

(1) 回答者の傾向〔問 1 (1) ~ (5)〕

まとめ

回答者の地域区分をみると、配布数に対する回答率に多少の差があるものの、地域ごとの世帯構成比率におおむね応じる割合となっています。(下表参照)

また、回答者の性別をみると男性が多くなっています。実際は、3町全体の18歳以上人口は女性が若干多い状況ですが、この要因として、世帯あてに送付したために、世帯主となっている男性が多く回答したものと考えられます。これは、50代以上の各年代の割合が実際の年代別人口割合を上回っていることから推測できます。

居住年数は20年以上、職業は自営農業、会社員・団体職員・公務員、無職が多いことも、回答者の属性と産業構造から考えると、実際との大きな差はないものと考えられます。

考察

これら回答者の傾向から、50代以上の男性の意見が若干強く反映される傾向にはあるものの、地域区分を含めて現状と大きな差はない、つまり、本調査結果は、住民の意向をおおむね反映していると考えられます。

【参考】

区 分		配布数に対する回答率	参 考	
			世帯数	構成比
伊方町	伊方地域	36.3%	1,792	33.0%
	町見地域	41.2%	764	14.1%
瀬戸町	三机地域	40.7%	656	12.1%
	四ツ浜地域	45.2%	460	8.5%
三崎町	三崎地域	27.1%	1,198	22.1%
	神松名地域	30.6%	558	10.2%
合 計		37.2%	5,428	100.0%

(2) 情報機器等の浸透度〔問 1 (6) ~ (7)〕

本格的な高度情報社会を迎えた今日において、この社会に対応する上で基本となるコンピュータとインタ - ネットの利用状況を調査しました。

まとめ

コンピュータは全体の 3 割が所有しています。伊方地域(36%)や神松名地域(30%)で 3 割を超え、他の地域より高い所有率となっています。年齢別では 10 代・20 代は 6.5 割、30 代・40 代は 5.5 割、50 代は 4.5 割、60 代は 2 割、70 代は 0.5 割と、年齢が上がるにしたがって所有率は下がります。

インタ - ネットは全体の 2 割が利用しています。年齢別では 30 代の 5 割が最も高く、10 代・20 代、40 代は 4 割、50 代は 2.5 割、60 代は 1 割の利用となっています。

考察

調査結果からは、若年層ほどコンピュータやインタ - ネットを利用している傾向はみられますが、1 世帯に 1 台というほどは普及していません。中でも、高齢者にとっては、まだなじみが薄いことがうかがえます。

今後の情報化社会への対応策や幅広いメディアの活用などは、こうした実情を踏まえた取り組みが求められます。

クロス分析

【地域別 / 年齢別】

		全体	問1(6) コンピューター保有状況		
			持っている	持っていない	不明
合計		2021 100.0	580 28.7	1371 67.8	70 3.5
地域別	伊方地域（伊方町）	650 100.0	234 36.0	410 63.1	6 0.9
	町見地域（伊方町）	315 100.0	79 25.1	234 74.3	2 0.6
	三机地域（瀬戸町）	267 100.0	69 25.8	192 71.9	6 2.2
	四ツ浜地域（瀬戸町）	208 100.0	51 24.5	156 75.0	1 0.5
	三崎地域（三崎町）	325 100.0	92 28.3	232 71.4	1 0.3
	神松名地域（三崎町）	171 100.0	52 30.4	115 67.3	4 2.3
	年齢別	10・20代	76 100.0	50 65.8	26 34.2
30代		166 100.0	97 58.4	68 41.0	1 0.6
40代		272 100.0	152 55.9	120 44.1	0 0.0
50代		388 100.0	171 44.1	217 55.9	0 0.0
60代		440 100.0	75 17.0	357 81.1	8 1.8
70歳以上		627 100.0	33 5.3	579 92.3	15 2.4

【年齢別】

		全体	問1(7) インターネット利用状況		
			利用している	利用していない	不明
合計		2021 100.0	371 18.4	1547 76.5	103 5.1
年齢別	10・20代	76 100.0	28 36.8	48 63.2	0 0.0
	30代	166 100.0	88 53.0	77 46.4	1 0.6
	40代	272 100.0	104 38.2	167 61.4	1 0.4
	50代	388 100.0	95 24.5	291 75.0	2 0.5
	60代	440 100.0	38 8.6	391 88.9	11 2.5
	70歳以上	627 100.0	17 2.7	568 90.6	42 6.7

(3) 住まいの町に対する満足度〔問2〕

まとめ

『満足度が高い』（満足＋やや満足）項目をみると、1位「自然環境の豊かさ」5割、2位「水道の整備状況」4割、3位「ごみの収集・処理の状況」3割です。

一方、『満足度が低い』（やや不満＋不満）項目として、「働きがいのある職場」、「日常の買物の便利さ」、「男女平等意識や女性の社会参画」などを挙げています。

地域別にみても、『満足度が高い』あるいは『満足度が低い』項目は、6地域ともほぼ共通しています。しかし、その満足度のポイントに地域格差があり、特に「保健・医療サービスや施設整備」では、三机地域の満足度が群を抜いて高くなっています。

合併意識別にみると、すべての項目において「合併肯定派」の満足度が高く、合併に対して消極的になるに従って、各項目の『満足度』が低くなっていきます。

考察

地域別にみても、各項目の満足度の順位には大差ありませんが、それらを構成する満足度の割合をみると、地域ごとの特色がでてくるようです。

合併意識別にみると、全般的に町の環境に満足している傾向が高い方が、合併にも肯定的であることがうかがえます。

合併後のまちづくりにおいては、全域的に『満足度が高い』項目をさらに充実していくと同時に、『満足度が低い』項目を着実に改善していくことが求められます。

つまり、自然環境を大切にする資源循環型の生活スタイルを基本にして、まちづくりの各分野における環境の向上や施策の充実に取り組むことといえます。その上で、各地域の特性を生かすような地域づくりが必要といえます。

クロス分析

【地域別、満足度割合の順位】

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
問2 自然環境の豊かさ	四ツ浜地域 59.1	三崎地域 58.5	三机地域 54.7	伊方地域 49.7	神松名地域 49.1	町見地域 48.6
問2 水道の整備状況	三机地域 50.2	町見地域 49.5	四ツ浜地域 44.7	三崎地域 42.2	伊方地域 41.5	神松名地域 36.8
問2 ごみの収集・処理の状況	伊方地域 39.4	町見地域 38.7	三机地域 38.6	四ツ浜地域 29.8	三崎地域 23.1	神松名地域 22.8
問2 騒音・振動・悪臭等の環境	三机地域 40.4	四ツ浜地域 38.9	神松名地域 35.7	三崎地域 33.5	町見地域 32.7	伊方地域 27.2
問2 人情味や地域の連帯感	伊方地域 32.9	四ツ浜地域 29.8	町見地域 29.5	三崎地域 28.6	三机地域 28.5	神松名地域 25.1
問2 保健・医療サービスや施設整備	三机地域 43.4	町見地域 28.9	四ツ浜地域 26.4	伊方地域 26.3	三崎地域 11.4	神松名地域 10.5
問2 福祉サービスや施設整備の状況	三机地域 31.5	伊方地域 31.1	町見地域 29.8	四ツ浜地域 24.0	神松名地域 8.2	三崎地域 8.0
問2 火災や災害からの安全性	四ツ浜地域 26.0	伊方地域 24.6	町見地域 24.4	三崎地域 24.0	三机地域 22.8	神松名地域 17.5
問2 道路の整備状況	三机地域 27.0	伊方地域 24.5	四ツ浜地域 19.2	三崎地域 18.8	神松名地域 18.1	町見地域 14.6
問2 スポーツ活動や施設整備の状況	伊方地域 28.5	町見地域 21.0	三机地域 19.9	四ツ浜地域 13.9	三崎地域 12.0	神松名地域 10.5
問2 行政情報や行事情報の提供状況	町見地域 26.0	伊方地域 23.8	四ツ浜地域 19.7	三机地域 18.7	三崎地域 9.2	神松名地域 8.8
問2 下水・排水の処理状況	町見地域 24.1	三机地域 22.1	四ツ浜地域 20.2	神松名地域 19.3	伊方地域 14.3	三崎地域 14.2
問2 子どもの教育環境	町見地域 23.8	伊方地域 19.1	四ツ浜地域 16.3	三机地域 15.4	三崎地域 13.8	神松名地域 12.9
問2 公園・緑地・広場の整備状況	神松名地域 19.9	伊方地域 18.3	三机地域 16.9	町見地域 16.8	四ツ浜地域 12.0	三崎地域 7.1
問2 生涯学習活動、芸術・文化活動	伊方地域 14.9	町見地域 13.7	四ツ浜地域 12.5	神松名地域 10.5	三机地域 10.5	三崎地域 8.0
問2 国内外との交流活動	伊方地域 20.8	町見地域 14.3	四ツ浜地域 7.2	三机地域 6.7	神松名地域 4.1	三崎地域 2.2
問2 交通機関の利便さ	三崎地域 12.9	伊方地域 11.7	三机地域 11.2	町見地域 6.7	神松名地域 6.4	四ツ浜地域 6.3
問2 男女平等意識や女性の社会参画	町見地域 11.7	伊方地域 10.5	四ツ浜地域 9.6	三机地域 7.5	三崎地域 6.5	神松名地域 5.8
問2 日常の買物の利便さ	三崎地域 11.4	神松名地域 10.5	町見地域 9.5	伊方地域 8.8	三机地域 8.2	四ツ浜地域 3.8
問2 働きがいのある職場	伊方地域 10.5	町見地域 7.0	三机地域 6.7	四ツ浜地域 5.3	三崎地域 4.6	神松名地域 2.9

「網掛け」は1位の満足度との差が5ポイント以上ある地域

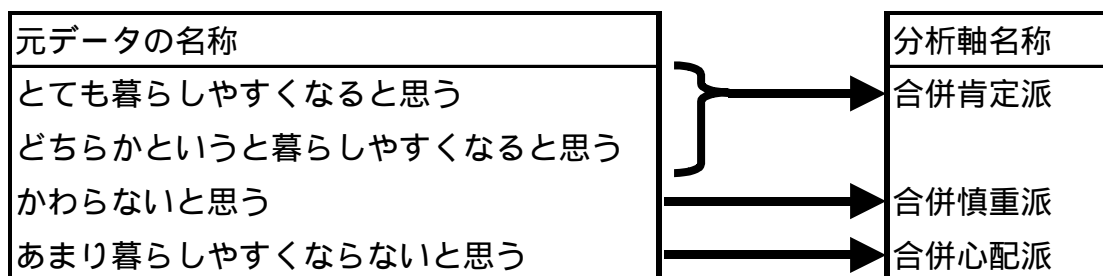
【合併意識別】

	合併肯定派	合併慎重派	合併心配派
問2 自然環境の豊かさ	68.0	51.4	46.7
問2 水道の整備状況	53.3	42.9	38.7
問2 ごみの収集・処理の状況	44.5	32.9	28.3
問2 騒音・振動・悪臭等の環境	43.0	32.1	27.0
問2 人情味や地域の連帯感	39.7	30.4	22.2
問2 保健・医療サービスや施設整備	30.9	25.7	19.7
問2 福祉サービスや施設整備の状況	28.7	25.0	19.2
問2 火災や災害からの安全性	30.5	23.9	19.2
問2 道路の整備状況	32.0	20.5	15.1
問2 スポーツ活動や施設整備の状況	26.8	20.2	15.1
問2 行政情報や行事情報の提供状況	31.6	17.6	14.5
問2 下水・排水の処理状況	25.4	16.6	15.6
問2 子どもの教育環境	20.6	18.0	13.4
問2 公園・緑地・広場の整備状況	19.5	14.6	13.8
問2 生涯学習活動、芸術・文化活動	16.2	12.2	9.3
問2 国内外との交流活動	13.6	12.5	8.4
問2 交通機関の便利さ	15.1	9.7	6.9
問2 男女平等意識や女性の社会参画	10.3	9.3	7.3
問2 日常の買物の便利さ	11.4	8.1	7.8
問2 働きがいのある職場	12.5	7.0	4.8

「網掛け」は各地域で40%以上の項目

分析軸の説明

問7の4つのカテゴリを、合併意識別に「合併肯定派、合併慎重派、合併心配派」の3つに分類し、クロス集計を行いました。



(4) 合併に対する意識〔問 7〕

まとめ

合併に対する住民の意識をみると、「かわらないと思う」(合併慎重派)が圧倒的に高いことがわかります。

地域別にみると、合併肯定派(「とても暮らしやすくなると思う」と「どちらかという暮らしやすくなると思う」をあわせた割合)は、伊方地域(1割)、町見地域(1割)、三机地域(2割)、四ツ浜地域(2割)、三崎地域(1.5割)、神松名地域(1割)となり、3町の中では瀬戸町(三机地域、四ツ浜地域)の割合が高くなっています。

年齢別にみると、10~30代といった若年層は「どちらかという暮らしやすくなると思う」(合併肯定派)の割合が他の年代に比べて高い一方、60代以上の高齢層は「あまり暮らしやすくないと思う」(合併心配派)の割合が他の年代に比べて高いことがわかります。

考察

調査結果から、全体的には合併によるまちの活性化に対しては慎重になっており、それほど期待していないともいえます。中でも、3町に長年住んでいる高齢層は、合併に対して懐疑的であることがわかります。一方、若年層は大きくはないがそれなりに期待していることもうかがえます。

新町のまちづくりについては、こうした住民意識を前提に、合併によるまちの活性化や住民サービスの向上などを、目に見える形で着実に実施していくことが大切となります。しかし、もう一方では、現在住んでいる住民のみならず、長期的な展望に立った施策の推進も必要となります。

クロス分析

【地域別 / 年齢別】

		全体	問7 3町合併による効果				
			とても暮らしやすくなると思う	どちらかという暮らしやすくなると思う	かわらないと思う	あまり暮らしやすくないと思う	不明
合計		2021 100.0	28 1.4	244 12.1	1190 58.9	463 22.9	96 4.8
地域別	伊方地域（伊方町）	650 100.0	13 2.0	57 8.8	429 66.0	133 20.5	18 2.8
	町見地域（伊方町）	315 100.0	1 0.3	32 10.2	192 61.0	78 24.8	12 3.8
	三机地域（瀬戸町）	267 100.0	4 1.5	46 17.2	143 53.6	64 24.0	10 3.7
	四ツ浜地域（瀬戸町）	208 100.0	1 0.5	43 20.7	108 51.9	45 21.6	11 5.3
	三崎地域（三崎町）	325 100.0	6 1.8	42 12.9	191 58.8	75 23.1	11 3.4
	神松名地域（三崎町）	171 100.0	0 0.0	13 7.6	95 55.6	52 30.4	11 6.4
	年齢別	10・20代	76 100.0	1 1.3	14 18.4	50 65.8	11 14.5
30代		166 100.0	3 1.8	30 18.1	107 64.5	25 15.1	1 0.6
40代		272 100.0	9 3.3	30 11.0	170 62.5	61 22.4	2 0.7
50代		388 100.0	4 1.0	39 10.1	259 66.8	76 19.6	10 2.6
60代		440 100.0	3 0.7	54 12.3	246 55.9	123 28.0	14 3.2
70歳以上		627 100.0	8 1.3	73 11.6	343 54.7	155 24.7	48 7.7

(5) 新たなまちづくりの優先施策〔問3〕

まとめ

『優先度が高い』(1位+2位)分野をみると、1位「健康・福祉を重視するまちづくり」5割超、2位「産業振興を重視するまちづくり」5割です。ただし、第1位だけみると、「産業振興」の3割が最も高くなっています。

一方、『優先度が低い』(4位+5位)分野は、「住民自治を重視するまちづくり」、「教育・文化を重視するまちづくり」です。

地域別にみても、「健康・福祉」と「産業振興」の『優先度』が高くなっています。ただし、三崎地域では「健康・福祉」と「産業振興」の差が大きくなっています。

合併意識別にみると、いずれも「健康・福祉」が最も高くなっていますが、中でも「合併心配派」「合併慎重派」の割合が「合併肯定派」と比べて高くなっています。また、「合併肯定派」は「産業振興」よりも「自然環境を重視するまちづくり」の割合が高くなっています。

考察

全体の調査結果からは、「健康・福祉」と「産業振興」といった、生活の質の向上に資する施策を重視した、まちづくりを望んでいることがわかります。同時に、自然環境も大切にすることも求められていると考えられます。

『合併心配派』の「健康・福祉」割合が最も高いことは、「最も優先して欲しい。しかし、あまり期待できない。従って、合併しても暮らしやすくはならない」という考えが推測されます。しかしながら、それを逆に考えれば、「健康・福祉」の充実を最も望んでいると捉えることもできます。

一方、これからの福祉分野は“地域で支えあう力”が最も必要とされる分野であり、「住民自治」の推進を抜きにして、福祉分野の充実は望めません。また、福祉に限らず、これからのまちづくりに最も大切な住民自治意識の醸成・向上、住民・地域・行政などとの“協働”によるまちづくりも重要となります。

クロス分析

【地域別 / 合併意識別】

	伊方町		瀬戸町		三崎町	
	伊方地域	町見地域	三机地域	四ツ浜地域	三崎地域	神松名地域
問3 健康・福祉を重視するまちづくり	55.2	51.4	54.3	51.4	62.8	51.5
問3 産業振興を重視するまちづくり	49.8	51.4	42.3	52.9	42.8	46.2
問3 自然環境を重視するまちづくり	40.0	42.5	40.1	39.9	33.8	33.9
問3 住民自治を重視するまちづくり	16.0	19.7	26.6	20.2	20.0	28.7
問3 教育・文化を重視するまちづくり	24.8	20.3	19.1	17.3	20.0	10.5

	合併肯定派	合併慎重派	合併心配派
問3 健康・福祉を重視するまちづくり	51.1	56.0	57.7
問3 産業振興を重視するまちづくり	44.9	49.8	44.5
問3 自然環境を重視するまちづくり	46.7	40.3	33.0
問3 住民自治を重視するまちづくり	20.6	18.5	26.1
問3 教育・文化を重視するまちづくり	22.8	19.5	21.6

「1位」 + 「2位」をまちづくり推進優先事項として算出

「網掛け」は50%以上の項目

(6) 合併への期待と不安〔問 4、問 6〕

「まちづくり分野の期待度」まとめ

5割以上が『期待している』項目は、「保健・医療・福祉環境の充実」、「魅力あるまちづくりへの取り組み」、「行政の効率化や経費の節減」、「若者の定住化促進」、「産業の活性化」です。一方、『期待していない』項目は、「大規模事業などの推進」が最も高くなっています。『どちらともいえない』項目は、「スポーツ・文化・生涯学習活動、住民活動の活性化」、「大規模事業などの推進」が高くなっています。地域別にみても全体傾向と同様です。ただし、同じ町内で比較すると、伊方町では町見地域の「効果的な事業の実施」、「若者の定住化促進」の割合が高く、三崎町では神松名地域の「保健・医療・福祉環境の充実」の割合が高くなっています。また、瀬戸町では四ツ浜地域の「若者の定住化促進」の割合が若干高くなっています。合併意識別にみると、『合併肯定派』は多くの分野に期待していることがわかります。また、合併に対して消極的になるに従って、各項目の『期待度』が低くなっていきます。ただし、『合併心配派』でも「保健・医療・福祉環境の充実」の期待度は5割を超えています。

「合併への不安感」まとめ

4割以上が『心配している』項目は、「中心部と周辺地域との格差が生じる」、「きめ細かな行政サービスが難しくなる」、「住民の意見が行政に反映しにくくなる」です。一方、『心配していない』項目は、「郷土愛や地元意識が薄れる」が最も高くなっています。

地域別で見ると、はっきりとした意識の差がみられます。各地域で最も高い割合は、伊方地域「公共料金など住民負担の増大」、町見地域「中心部と周辺地域との格差」、三机地域「中心部と周辺地域との格差」と「きめ細かな行政サービスが難しくなる」、四ツ浜地域「役場への距離が遠くなり、不便になる」、三崎地域「住民の意見が行政に反映しにくくなる」、神松名地域「中心部と周辺地域との格差」となっています。

合併意識別にみると、『合併心配派』は、ほとんどの分野で心配していることがわ

かります。また、合併に対して消極的になるに従って、各項目の『心配度』がおおむね高くなっていきます。ただし、『合併肯定派』でも「中心部と周辺地域との格差」の心配度は4割を超えています。

考察

これらの設問は、合併によるまちづくりに対して、住民が何を期待しているのか、そして、どのようなことを心配しているのかを把握するものです。

期待することとして、「保健福祉」や「産業振興」などを主とした魅力あるまちづくりを望んでいます。これは、(5)「まちづくりの優先施策」の結果とも合致します。

一方、心配している点は、「中心部と周辺地域との格差拡大」や「きめ細かな行政サービス」などを挙げています。住民にとっては合併によって組織的にも、面積的にも大きくなることによって、細部まで目が行き届かなくなるという不安感、中心部だけ発展して周辺地域は過疎化が進むという不安感が大きいことがわかります。特に、伊方地域以外の地域にその意識が強くなっています。

この期待と不安の結果、さらには、「大規模事業」はそれほど期待していないことなども考え合わせると、不安を払拭する施策推進はもちろんのこと、各地域との協議などを十分かつ日常的に行いながら、精神的にも経済的にも安心して暮らすことのできるまちづくりを進めていくことが必要であると考えます。また、地域性を考慮した施策の展開も必要でしょう。

クロス分析

【地域別 / 合併意識別】

	伊方町		瀬戸町		三崎町	
	伊方地域	町見地域	三机地域	四ツ浜地域	三崎地域	神松名地域
問4 保健・医療・福祉環境の充実	60.6	59.7	65.5	64.9	62.8	68.4
問4 魅力あるまちづくりへの取り組み	60.9	63.2	62.2	65.4	63.1	63.7
問4 行政の効率化や経費の節減	58.2	59.0	53.9	54.8	55.7	59.1
問4 若者の定住化促進	53.8	60.3	57.7	62.0	53.5	49.7
問4 産業の活性化	55.2	52.7	55.8	53.4	52.9	55.6
問4 効果的な事業の実施	44.5	50.8	49.4	49.0	44.3	46.8
問4 町民に開かれた行政運営の推進	46.3	48.3	46.1	42.8	44.0	46.8
問4 スポーツ文化・生涯学習活動の活性化	39.8	38.7	39.3	35.6	32.3	31.0
問4 大規模事業などの推進	26.6	27.3	30.7	28.8	28.9	31.6

	合併肯定派	合併慎重派	合併心配派
問4 保健・医療・福祉環境の充実	76.5	63.1	55.7
問4 魅力あるまちづくりへの取り組み	79.8	63.3	49.5
問4 行政の効率化や経費の節減	71.7	57.6	48.6
問4 若者の定住化促進	70.2	56.3	46.9
問4 産業の活性化	70.6	54.5	45.4
問4 効果的な事業の実施	64.0	46.4	38.4
問4 町民に開かれた行政運営の推進	61.8	45.4	36.9
問4 スポーツ文化・生涯学習活動の活性化	58.1	36.1	27.6
問4 大規模事業などの推進	48.2	26.6	21.2

「網掛け」は50%以上の項目

【地域別 / 合併意識別】

	伊方町		瀬戸町		三崎町	
	伊方地域	町見地域	三机地域	四ツ浜地域	三崎地域	神松名地域
問6 中心部と周辺地域との格差が生じる	37.2	53.3	54.7	51.9	52.9	58.5
問6 きめ細かな行政サービスが難しくなる	43.5	43.8	54.7	51.4	50.5	55.6
問6 住民の意見が行政に反映しにくくなる	36.0	39.7	49.1	49.0	56.0	48.5
問6 公共料金など、住民負担が増大する	47.1	42.5	34.5	34.6	36.9	32.7
問6 役場への距離が遠くなり、不便になる	19.4	34.6	51.7	61.5	53.8	54.4
問6 公共投資の分散で効果的な事業ができなくなる	30.2	29.5	27.0	29.3	36.0	36.8
問6 伝統や文化など、地域の個性や特徴が失われる	22.3	19.7	25.5	21.6	29.8	24.0
問6 郷土愛や地元意識が薄れる	19.7	17.5	16.5	16.3	22.8	24.0

	合併肯定派	合併慎重派	合併心配派
問6 中心部と周辺地域との格差が生じる	40.4	46.3	63.3
問6 きめ細かな行政サービスが難しくなる	34.9	46.1	66.7
問6 住民の意見が行政に反映しにくくなる	39.3	40.3	63.1
問6 公共料金など、住民負担が増大する	26.8	38.6	56.4
問6 役場への距離が遠くなり、不便になる	37.1	37.4	51.8
問6 公共投資の分散で効果的な事業ができなくなる	23.5	27.3	47.5
問6 伝統や文化など、地域の個性や特徴が失われる	22.4	20.9	35.2
問6 郷土愛や地元意識が薄れる	15.4	17.1	30.7

「網掛け」は50%以上の項目

(7) 地域づくりへの参加意欲〔問 5〕

まとめ

いずれの項目も、「どちらともいえない」の割合が4~5割と最も高くなっています。すべての項目の「参加していきたい」が2~3割で、「参加したくない」の割合をいずれも上回っています。中では「行政運営に関すること」への参加意欲が最も低くなっています。

地域別に「参加していきたい」割合をみても全体傾向と同様です。ただし、四ツ浜地域では「地域づくり活動に関すること」への参加意向が最も高くなっています。

合併意識別にみると、『合併肯定派』は地域づくりなどへの参加意欲がいずれも5割と高くなっています。また、合併に対して消極的になるに従って参加意欲が低くなっていきます。

考察

この設問は、地域づくりに対する住民の参加意識、地域自治への意欲を把握するものです。

調査結果からは、地域づくりなどに積極的に参加していこうという意識の方が、合併に対して肯定的であることがわかります。

(5) の考察でも述べたように、これからはまちづくりに最も大切な住民自治の意識を醸成していかなければなりません。地域ごとの住民意識に差がみられることから、地域の実情を踏まえながら、少しずつでも住民自治意識が広がるよう、地域と一緒になって取り組んでいく必要があります。

クロス分析

【地域別 / 合併意識別】

	伊方町		瀬戸町		三崎町	
	伊方地域	町見地域	三机地域	四ツ浜地域	三崎地域	神松名地域
問5 ボランティア活動に関すること	37.5	36.2	31.5	30.3	33.5	32.7
問5 地域づくり活動に関すること	36.9	34.3	31.8	37.5	32.9	28.7
問5 行政運営に関すること	20.9	24.1	18.4	22.1	20.3	19.3

	合併肯定派	合併慎重派	合併心配派
問5 ボランティア活動に関すること	50.4	34.2	29.4
問5 地域づくり活動に関すること	54.0	33.7	28.1
問5 行政運営に関すること	43.0	18.1	18.4

町民意向調査 【自由意見まとめ】

問8 地域格差(不安)是正策の方法

	内 容	合計	伊方地域	町見地域	三机地域	四ッ浜地域	三崎地域	神松名地域	不明
1	きめ細かな行政サービス	71	22	12	12	15	4	5	1
2	町民の意見を重視、施策に反映	70	35	7	12	3	8	4	1
3	巡回バス等を整備し、交通機関の改善	56	20	7	8	10	3	5	3
4	支所機能の充実	49	8	8	8	9	12	4	
5	互いの住民の交流、コミュニケーションづくり	44	15	9	6	2	5	7	
6	周辺部の施設整備(住宅、特産施設他)	43	13	11	6	6	6		1
7	格差はない	35	11	5	4	6	6	3	
8	格差は仕方がない、格差解消は無理である	26	5	5	5	3	5	3	
9	中心部への、各集落間のアクセス整備、地区内道の整備	14	5	3	3	2	1		
9	土地のゾーン設定と整備	14	6	2	1		4		1
11	情報化社会に伴うインターネット、LANの整備	11	7		1	1	1	1	
11	町・地域の個性を生かす	11					7	4	
13	雇用の場確保	10	6	1		2		1	
13	自治区の強化、統合、再編成	10		3	1	3	3		
15	行政体制の地域充実(地域職員の配置)	7	3	2		1	1		
16	各ブロックでのまちづくり委員会・格差是正検討会・地域審議会等の設置	6	4			2			
16	情報公開	6					3	3	
18	医療機関の充実	4					1	3	
19	地区公民館の充実	2	1		1				
19	2町間の負担等の軽減など特別立法の制定	2	2						
21	その他 (合併見直し、職員削減、学校統合の不安、平等性、役場の位置、要望等)	153	31	13	12	8	41	36	12
		644	194	88	80	73	111	79	19

問9 町の魅力や自慢できるもの

	内 容	合計	伊方地域	町見地域	三机地域	四ッ浜地域	三崎地域	神松名地域	不明
1	自然 (海・山・空・夜空・水・空気・風・段々畑・山桜・砂浜・野鳥等)	293	91	37	36	46	54	24	5
2	原子力発電・風力発電(電気・エネルギーのまち)	90	33	12	15	19	6	5	
3	人情味、素朴な人柄、助け合いの心	89	29	12	10	13	12	10	3
4	みかん・魚	84	29	8	5	7	24	8	3
5	海の幸・山の幸、特産品(いも、つわぶき等)	45	14	2	2	5	11	10	1
6	何もない	28	3	3	1	2	10	7	2
7	佐田岬半島	21	3		2	2	9	5	
7	四国の西の玄関、九州への玄関	21					11	8	2
9	灯台	16					9	7	
10	清見タンゴール	14					9	5	
11	文化財・郷土芸能・歴史のある町、方言	12	1	4	1	1	2	3	
12	杜氏	10	9					1	
13	岬あじ・岬さば	8					5	3	
14	施設整備	7	4	3					
14	メロディーライン	7	1		1		4	1	
16	福祉施設・福祉サービス	6	2	1	3				
16	イベント(きなはいや伊方祭り・瀬戸の花嫁祭り等)	6	3		1			2	
16	伽藍山	6					4	2	
19	三机湾・九軍神・須賀公園	5			3			1	1
19	財政力・企画力・行動力	5	1	2			2		
21	田舎、緑の大地	2	2						
21	室の鼻海水プール	2	2						
21	人材、偉人、冒険家河野兵市	2	1			1			
21	高茂牧場	2			1			1	
21	伊勢エビ	2					2		
26	郷土料理、名物料理	1	1						
26	あこう樹	1						1	
26	三崎高校	1						1	
29	その他 (公共下水道、電気代低料金、要望事項等)	72	21	12	11	6	12	6	4
		858	250	96	92	102	186	111	21

問9 キャッチフレーズ・こんなまちにしたい

	内 容	合計	伊方地域	町見地域	三机地域	四ッ浜地域	三崎地域	神松名地域	不明
1	自然豊かな、人情豊かなまち、笑顔あふれるまち	81	28	7	14	7	14	8	3
2	生活環境の良いまち、住みやすいまち	79	28	13	10	10	12	5	1
3	若者が定住できるまち	49	21	11	2	5	7	2	1
4	老若男女が安心して暮らせるまち	37	6	5	4	7	9	4	2
5	佐田岬半島を利点にした観光のまち	31	10	3	5	3	5	5	
6	原子力と風車のまち	24	6	2	6	3	5	2	
7	互いに手をつなぎ合い心のふれあうまち、交流のまち	21	6	5		2	2	6	
8	なし	19	7		1	2	5	4	
9	差別やいじめのないまち、やさしいまち	13	5	1	3	2	2		
10	自然を愛し変わらない心をもつまち	12	6		1	2			3
10	第一次産業の元気なまち	12	1	1		3	5	2	
12	みかんと魚のまちづくり	11	3	1	1	1	4	1	
13	自然と文化のまち	10	4	1	1		3	1	
14	風のまち、貴方の手に風の届くまち	9	2		4	1	1	1	
14	一度行ってみたいまち	9	4	2		1	2		
14	福祉のまち	9	3			2	3	1	
17	キラリと光るまちづくり	7	2		3		1		1
18	イベントでのまちおこし	3	1					2	
19	農漁村風景を残したまち	2	2						
19	スポーツが盛んなまち	2	2						
19	自然と科学が仲良しなまち	2				2			
19	日本全国の人達に知られる町づくり	2					1		1
23	グリーンツーリズム宣言のまち	1	1						
23	スローフード宣言のまち	1		1					
25	その他(要望等)	59	20	6	5	5	15	7	1

(ユニーク例)

	内 容	合計	伊方地域	町見地域	三机地域	四ッ浜地域	三崎地域	神松名地域	不明
1	エネルギーのまち	2		1		1			
2	風が奏でるメロディーのまち	2			2				
3	「恋するなら 町」	1	1						
4	生まれ変わります 日本一佐田岬半島	1	1						
5	これだけは日本一のまちづくり	1	1						
6	ホットするまち	1	1						
7	おもてなしの心	1		1					
8	日本の元気は から発信 キラリと光るエネルギーのまち	1				1			
9	エコタウン 町	1				1			
10	自然にやさしい原子力のまち 風力発電の里	1	1						
11	へ行っていい汗かこう	1	1						
12	潮風を感じる癒しのまち	1		1					
13	自然を感じて、この町で	1					1		
14	ハートを大切に作るシーサイドタウン	1					1		
15	海の流れるまち、佐田岬	1					1		
16	四国アイランド 最西端のまち	1					1		
17	日本一細長い 四国の最西端の半島の町	1					1		
		524	174	62	62	61	101	51	13

問10 新しい町の将来の夢やアイデア、意見など

内 容	合計	伊方地域	町見地域	三机地域	四ッ浜地域	三崎地域	神松名地域	不明
1. まちづくりへの提言、要望								
(1) まちづくりの考え方								
若者が残れるまちづくり	49	16	7	8	9	5	4	
地域の個性を生かしたまちづくり(原発・風車化)	44	17	6	2	5	9	4	1
住みやすいまちづくり	41	13	4	9	7	3	5	
高齢者を大切にするまちづくり	18	7	3	1	1	4	2	
(2) 具体的な施策								
観光振興対策	51	14	8	1	10	15	1	2
雇用対策、定住対策	45	17	8	5	7	6	2	
教育、文化	44	26	3	2	1	8	4	
道路整備、交通機関の整備	40	15	2	5	4	6	7	1
産業振興策	31	13	2	4	2	7	3	
福祉対策	18	3			1	10	4	
高齢者対策	14	7	3	1	3			
商工業振興策	13	9	2		2			
医療、保健関連	12	5	1			4	2	
情報公開	10	4	1	2		2		1
環境衛生、自然保護	10	5	2	1		2		
少子化対策	9	8					1	
住宅対策	7	2	3		1	1		
土地利用、ゾーン設定	5	2	1		1	1		
地域間交流	5					1	4	
上下水道	3		3					
情報化対策	3	2				1		
防災対策	2	1			1			
2. 合併への期待	84	19	7	10	12	19	10	7
3. 合併への不安、期待できないなど	54	15	8	9	7	9	5	1
4. 合併の枠組みについて								
もっと広く	26	10	1	6	3	2	3	1
反対	17	8	4	5				
三崎町への対応	10	6	3		1			
5. 新町名称について	23	10	2	4	1	3	3	
6. 議会への要望・要請	10	2	1	1	2	2	2	
7. 行政運営について(サービス向上、行革推進等)	45	19	3	3	8	7	4	1
8. その他	54	14	4	6		16	10	4
	797	289	92	85	89	143	80	19

第9回 伊方町・瀬戸町・三崎町合併協議会の日程について

伊方町・瀬戸町・三崎町合併協議会開催一覧表

	開催町	開催場所	開催日時
第1回	伊方町	伊方町役場	平成15年 1月14日(火) 14:00~
第2回	瀬戸町	瀬戸町民センター	平成15年 2月14日(金) 14:00~
第3回	伊方町	伊方町役場	平成15年 3月17日(月) 14:00~
第4回	瀬戸町	瀬戸町民センター	平成15年 4月17日(木) 14:00~
第5回	伊方町	伊方町役場	平成15年 5月23日(金) 10:00~
第6回	瀬戸町	瀬戸町民センター	平成15年 6月27日(金) 10:30~
第7回	伊方町	伊方町民会館	平成15年 7月 2日(水) 14:00~
第8回	三崎町	三崎町民会館	平成15年 7月31日(木) 15:00~
第9回	瀬戸町	瀬戸町民センター	平成15年 8月28日(木) 14:00~
第10回	伊方町	伊方町民会館	平成15年 9月 日() 14:00~
第11回	三崎町	三崎町民会館	平成15年10月 日() 14:00~
第12回	瀬戸町	瀬戸町民センター	平成15年11月 日() 14:00~
第13回	伊方町	伊方町民会館	平成15年12月 日() 14:00~